

令和2年度 主な重点的施策 (抜粋)

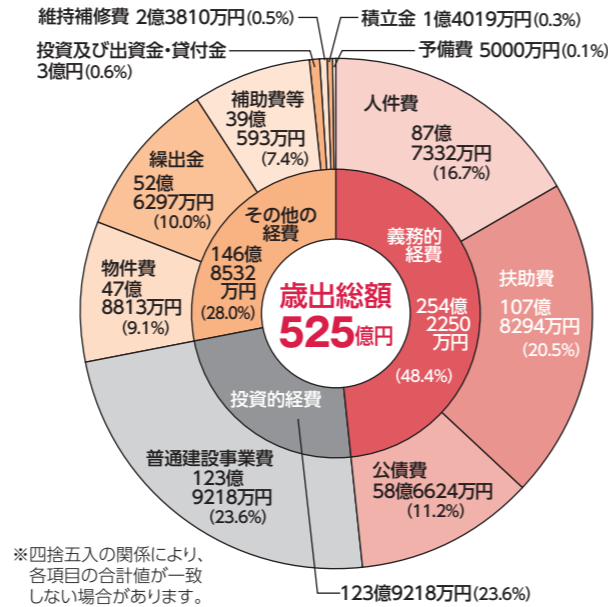
1. 心豊かな子どもが育つ	
多子世帯出産祝金支給事業費	850万円
4月以降に第3子以降の子どもが生まれた世帯に対し、1人当たり5万円の出産祝金を支給。	
給食費無償化(市独自)経費	1億922万円
国の給食(副食)費無償化の要件に該当しない子どもたちの副食費と、すべての子どもの主食費を市独自で無償化。	
2. 安心して暮らせる	
市庁舎等複合施設整備事業費	50億7059万円
新庁舎の整備工事を進めるとともに、現庁舎側に駐車場を確保しつつ、解体に向けた準備を進める。	
大手町地区4街区再編整備事業費	4億5927万円
税務署を移転整備するほか、バスやタクシー乗降所を新庁舎近辺に移設するための歩道改良工事を行う。	
社会資本総合整備事業(市道整備)	
市道西土器南北線道路整備(1期・2期)事業費	1億4050万円
市道原田金倉線道路整備事業費	1億9470万円
市道南三浦上分線道路整備事業費	2億3320万円
市道郡家東西2号線道路整備事業費	8850万円
安全性やアクセス環境の向上に向け、国の交付金を活用し、主要幹線道路の早期完成を目指す。	
3. 活きみなぎる	
産業振興対策事業費	1900万円
後継者の不在により、事業承継が困難な状況を解消するため、事業承継に対する補助を追加。	
4. 健康に暮らせる	
乳がん検診委託料	129万円
早期発見・早期治療に結び付けられるよう、35歳時検診を市の独自施策として実施。	
5. みんなでつくる	
丸亀城石垣復旧事業費	10億7155万円
石材調査を行いながら、帯曲輪石垣の解体工事に着手。また、同時進行で原因究明と対策工法を確立させる。加えて、それらの情報発信や体験型イベントも実施。	
新市民会館整備事業費	840万円
新市民会館建設事業費	1億3330万円
新市民会館の基本・実施計画の策定や、開館に向けた事業計画の検討に着手。	
市民交流活動センター開館準備事業費	6133万円
市民交流活動センター整備事業費	2億385万円
だれもが訪れやすく、活動しやすい場となるよう、機器や内装などのほか、運営環境を整備する。	

特別会計および公営企業会計の規模

会計名	当初予算額	増減率(%)
国民健康保険特別会計	123億7700万円	▲2.0
国民健康保険診療所特別会計	1億1950万円	14.0
駐車場特別会計	1億4820万円	29.8
後期高齢者医療特別会計	15億1800万円	8.4
介護保険特別会計	90億1400万円	0.8
介護保険サービス事業特別会計	1億730万円	11.8
特別会計合計	232億8400万円	▲14.7
下水道事業会計	75億5196万円	皆増
モーターボート競走事業会計	871億7612万円	12.9

今年度は、幼児教育・保育の無償化や会計年度任用職員制度の導入、また市庁舎建設などの投資的経費が大幅に増加したため、前年度に引き続き、当初予算としては過去最大の規模となりました。厳しい財政状況の中、限りある財源を効果的・効率的に活用し、子どもを産み育てやすい環境づくりや、未来に向けた基盤づくりなどに取り組み、持続可能な丸亀市を目指して予算編成しました。

一般会計の歳出(性質別分類)



※四捨五入の関係により、各項目の合計値が一致しない場合があります。

特別会計・公営企業会計
国民健康保険特別会計は、被保険者数の減少で減額となる一方、介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計では、高齢化の進行に伴い、増額となっています。特別会計から公営企業会計へ移

行する下水道事業会計では、都市下水道や雨水幹線事業を一般会計から移行することに加え、従来の農業集落排水事業を下水道事業として統合するほか、引き続き新浄化センターの整備を進めています。モーターボート競走事業会計では、全国キャンペーンの展開などにより広域発売の拡充を図るほか、丸亀市観光協会などと連携しながら引き続き来場促進や活性化に努め、積極的な営業活動を展開していきます。

豊かで暮らしやすいまち丸亀を目指して
令和2年度
予算 **525億円**
(前年度比4.0%増)

一般会計の歳入

